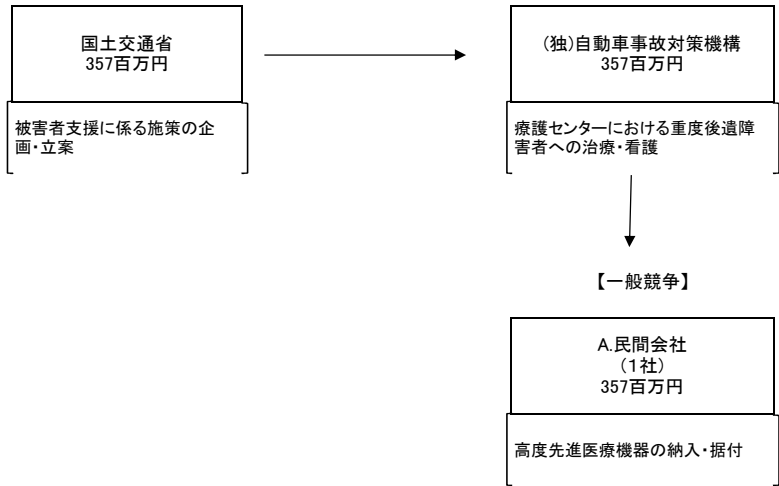


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	独立行政法人自動車事故対策機構施設整備費		担当部局	自動車局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年～		担当課室	保障制度参事官室		参事官 後藤 浩平		
会計区分	自動車安全特別会計(自動車事故対策勘定)		施策名	16 自動車事故の被害者の救済を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人自動車事故対策機構法)		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自動車事故による遷延性意識障害者(脳損傷により自力移動・摂食が不可能であるなどの最重度の後遺障害者)を受け入れ、治療する専門の医療機関である療護センターの高度先進医療機器等の施設整備を行い、遷延性意識障害のさらなる治療技術の精度向上を図ることにより、自動車事故被害者の支援を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本法人が設置・運営する療護センターは、一般の病院では治療が困難な自動車事故による遷延性意識障害者を受け入れ、充実した看護体制と専門の治療を行うことで、治療改善効果を上げているが、さらなる治療効果を上げ、被害者救済に資するため、医療機器の整備や各所修繕を行っている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	456	384	380	379	405	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	456	384	380	379	405	
	執行額	453	347	357	-	-		
執行率(%)	99.5%	90.3%	93.9%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	療護センターにおける脱却者数(一定の意思疎通・運動機能の改善が図られた患者数)		成果実績	人	16(15)	19(15)	13(15)	各年度計画において目標値を設定(※1内は各年度の目標値)。
	※達成度は、年度当初の計画に対する割合を示している。		達成度	%	106.7	126.7	86.7	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	中期計画に基づく療護センターに関連した施設・設備の新設及び老朽化等に伴う整備改修等件数		活動実績 (当初見込み)	件	2	1	1	-
単位当たりコスト	357(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:平成23年度執行額(357百万円) Y:平成23年度における装置更新件数(1件) ※中部療護センター陽電子放射断層撮影装置(PETカメラ)の更新				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人自動車事故対策機構施設整備費補助金	379	405	整備対象医療機器が異なるため。				
	計	379	405					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	自動車事故による遷延性意識障害者は一般の医療機関では十分な対応がなされておらず、本法人において専門的に治療・看護を行う必要があり、その施設整備については国が支援すべきである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	使途は真に必要なものに限定されており、また、一般競争入札によるコスト削減を図っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本法人は平成19～23年度の中期目標期間において目標値を超える実績を上げている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	療護センターの高度先進医療機器の更新にあたっては、費用対効果や運用実態等を個別に検証して、真に必要なものに限定されている。今後も引き続き、同様の精査の上、更新の検討を行う。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	設備の更新については、引き続き、真に必要なものに限定し、競争性・透明性を確保しつつ、コスト削減の取組みを更に徹底すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	更新による費用対効果や運用実態等を検証し、真にやむを得ない設備のみの要求とした。また、競争性・透明性を確保しつつ、コスト削減の取組みを更に徹底していく。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○事業仕分け第3弾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B-16 (1)自動車事故防止対策事業、(2)被害者保護対策事業 ・(1)見直し(当面、直接被害者のためになるもの以外は廃止し、「被害者保護対策事業」に集中すべき、バス事業は継続事業の終了をもって終了すべきとの意見もあった。)、(2)見直し(重度後遺障害者への支援に集中し、また、「自動車事故防止対策事業」から「被害者保護対策事業」に予算をシフトするなど選択と集中を行うべき。) 			
平成22年行政事業レビュー	330	平成23年行政事業レビュー	0308

※平成23年度実績を記入



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	中部療護センター ホットロン(陽電子)断層撮影装置(PET-CT)の納入・据付	357			
計		357	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)島津製作所 名古屋支店	中部療護センター ホットロン(陽電子)断層撮影装置(PET-CT)の納入・据付	357	3	97.9
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					